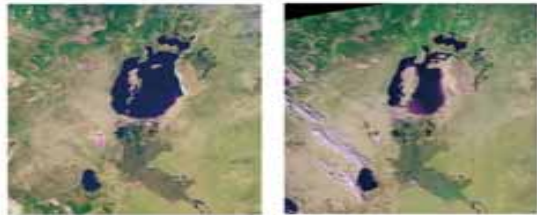


世界の水問題と我が国の取組

人口増加や都市開発等に伴う水質汚濁等の問題を抱える国があり、早急な対応が必要とされています。水問題の解決は重要な課題の一つであると世界的に認識されており、我が国は国際社会に責任を有し、また、過去に同様な水環境問題を解決した経験を持つ先進国として国際協力を行っています。

世界の水問題の現状（例）

アラル海

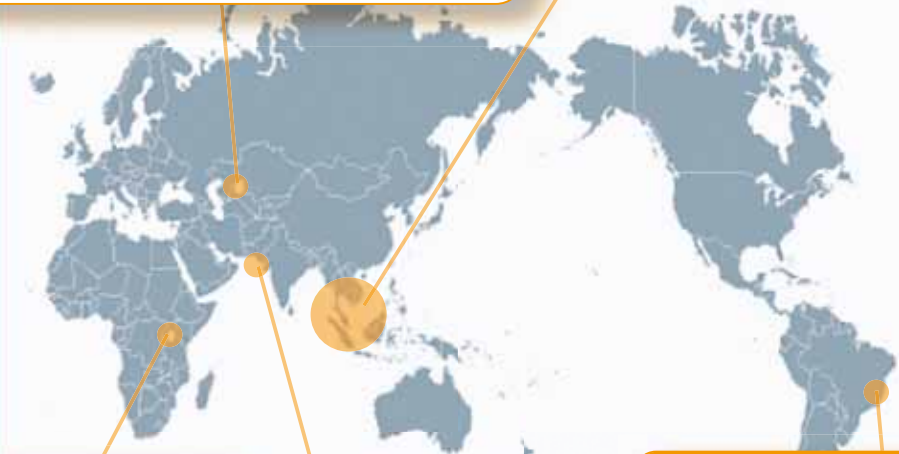


1989年4月26日
2001年4月26日
2000(km)
提供機関：東海大学情報連携センター
データ：NOAA SAA

流入する河川からの無計画、無調整による過剰取水が原因で海域の縮小、塩害の進行

東南アジア・インドシナ地域

工場からの産業廃水、ホテル・レストラン・家庭からの生活雑排水が直接河川などへ流入することによる水質汚濁が発生



ビクトリア湖

周辺人口増加、農地拡大に伴い富栄養化が進行し、生態系の変化、漁業などに影響

バングラデシュ・インド西ベンガル州

地下水のひ素汚染

グァナバラ湾

貧民街からの汚水の垂れ流しや廃棄物が非衛生的に処理されることが原因となり、閉鎖性水域で水質汚濁が深刻化

水に関する国際会議の動向

◆国連「持続可能な開発委員会」

「水」、「衛生」、「人間居住」のテーマで2005年4月に開催された13回会合では、「ミレニアム開発目標」にある「2015年までに安全な飲料水と基礎的な衛生施設を継続的に利用できない人々の割合を半減する」を達成するための政策オプションを決定。また、2008年に開催される第16回会合において、水と衛生に関する施策の進捗状況のフォローアップを実施予定。

◆国連「水と衛生の諮問委員会」

2004年3月に国連アナン事務総長の諮問委員会（議長：橋本元総理）として設立。2006年3月に開催された第4回世界水フォーラムにあわせて、橋本行動計画（Your Action, Our Action）をとりまとめ、発表。

◆世界水フォーラム

世界的に重要な水問題について討議し、様々な課題解決策を探るため、各国政府、国際機関、民間企業、NGO、研究機関などの水に関係する様々な主体が一同に会し、3年に一度開催される国際会議。近年では、第3回が2003年3月に京都・滋賀・大阪、第4回が2006年3月にメキシコ・メキシコシティで開催。第5回は2009年3月にトルコ・イスタンブールで開催予定。



第4回世界水フォーラム
環境省分科会（メキシコ・メキシコシティ）

環境省の取組

◆アジア水環境パートナーシップ（WEPA : Water Environment Partnership in Asia）

アジアモンスーン地域の水質汚濁問題の解決を図るため、水環境の情報基盤と人材育成を一体的に行うことを通じて、当該地域の水環境のガバナンス強化を目指すもの。2006年3月にデータベースを公開（WEPAデータベースのURL <http://www.wepa-db.net>）



WEPAのホームページ



WEPAの参加国

◆水環境保全活動の情報発信

◆世界の水環境保全のための調査研究

◆水質汚濁等問題解決に向けた調査等支援事業